

埼玉親善大使・フィンドレー大学平成27年度派遣奨学生
月例報告書・9月 徳永美友

日本の大学との違い

フィンドレー大学に来ておよそ二カ月経ちました。9月後半ごろから朝晩冷え込むことが多く秋の訪れを感じます。今回のレポートでは、学校で行われるイベントとこちらでの食生活、また、私が参加した habitat for humanity という活動についてお話ししたいと思います。

<Health&Wellness Fair>

フィンドレー大学では、様々な種類のイベントが開催されます。9月初めにはラクダに乗れるイベントがあり、行列ができていました。いつものようにキャンパス内を歩いていたらラクダがいたので



(右写真) 非常に驚きました。また、9月下旬には私も参加した Health&

Wellness Fair という医療イベントがありました。このイベントでは、フィンドレー大学の学生は無料でインフルエンザの予防接種が受けられます。また、聴覚や骨密度の検査など、全て無料で受けることができます。

<アメリカでの食生活>

フィンドレー大学では、キッチンのない寮に住んでいる生徒はミールプランに加入しています。これは学期初めにまとめて食費を払ってしまうもので、週に何回利用するかを、19回・14回・10回の中から選ぶことができます。また、この回数によって、学内や学校の近くのミールプランに対応しているお店で利用できるボーナスがいくらかついてくるかが変わってきます。私の寮にはキッチンがないのでミールプランに加入



ある日の昼食の写真です。

し、学内にあるダイニングホールを毎日のように利用しています。日本の大学のように、食券を買い、A 定食やうどんなどとこちらで指定するのではなく、食べ放題式です。ハンバーガー・ピザ・ラップサンドのカウンターに加えて日替わりのカウンターが2つあります。また、野菜やお菓子、パンやシリアルなども常に食べることができます。飲み物もドリンクバーがあり、非常に種類が豊富です。ダイニングホールを利用している留学生は比較的少ないように感じます。私のクラスで利用しているのは日本人だけで、多くのクラスメイトや留学生の友達も、自分でご飯を作っています。時々、中国人や韓国人の友人が食事をふるまってくれるのですが、どれも非常においしく、日本食の味に似ているものもあり、ホッとする味わいです。

<habitat for humanity >

Habitat for humanity では、家を買うことが難しい人のために家を建てるという活動を行っています。今回私は、断熱材として利用されるグラスウール（ガラス繊維でできた綿状の素材のもの）を家の壁に取り付ける作業をしました。



（写真右）日本では家づくりに参加したことはなかったので非常に貴重な経験ができました。家の骨組みを作るための木を切るところから、habitat for humanity のみなさんで取り組んでいきます。日本ほど地震の多くないアメリカだからこそ、このような活動ができるように感じました。